

広報 おおの 4月号

平成31年(2019年) NO.886



目次

- 表紙 ほら、春がきたよ!
- P 2 平成31年度 当初予算
- P 6 重点道の駅
- P 10 文化会館整備基本計画



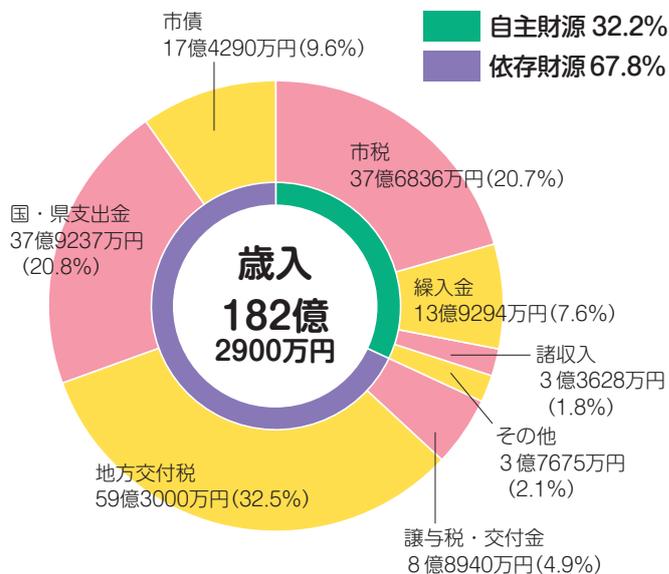
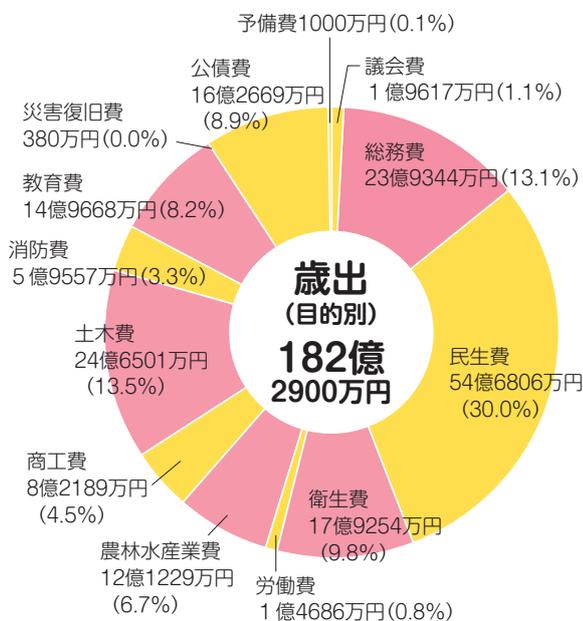
今月の国民の祝日
国旗を掲げましょう
29日(月) 昭和の日

Publicity papers



一般会計 予算額 182億2900万円

一般会計は、前年度当初予算と比較して5億2300万円増の182億2900万円で、過去2番目の予算規模となりました。歳出では、重点道の駅の施設整備が本格化することに加え、臨時的な事業として民間保育所の改築や介護施設の整備に対する補助などを計上したことにより、建設事業費が50.0%増となりました。一方で、国民体育大会が終了したことにより国体関係の経費3億8382万円が減少しました。歳入では、市税が3156万円増の37億6836万円、普通交付税が2000万円減の49億8000万円を見込んでいます。市債は建設事業費の大幅増などに伴い、4億6210万円増の17億4290万円を発行します。



特別会計 予算額 98億6670万円

特定の収益があり、一般会計とすみ分けて整理することで収支を明確にした会計です。

事業名	予算額	前年度比
国民健康保険事業	35億9266万円	▲0.7%
和泉診療所事業	9463万円	▲1.5%
後期高齢者医療	4億4104万円	3.0%
介護保険事業(保険事業勘定)	39億3072万円	0.7%
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	1138万円	0.5%
簡易水道事業	1億3291万円	14.1%
農業集落排水事業	3億3266万円	0.5%
下水道事業	13億3072万円	▲17.2%

企業会計 予算額 2億8334万円

民間企業と同様に事業で収益をあげて運営している会計です。

事業名	予算額	前年度比
水道事業	2億8334万円	▲4.6%

歳出予算を違う見方にしました 歳出予算の性質別内訳

義務的経費

項目	予算額	前年度比
人件費	32億9302万円	▲2.5%
扶助費	34億2144万円	3.3%
公債費	16億2643万円	2.1%

投資的経費

項目	予算額	前年度比
建設事業費	25億5424万円	50.0%

その他の経費

項目	予算額	前年度比
物件費	29億6836万円	2.7%
維持補修費	2億5693万円	▲8.2%
補助費等	16億8457万円	▲19.2%
積立金	8975万円	▲0.6%
投資および出資金、貸付金	1億8210万円	▲12.1%
繰出金	21億4216万円	▲0.8%
予備費	1000万円	0.0%

前年と比較した 会計別の当初予算額

会計の名称	予算額	前年度比
一般会計	182億2900万円	3.0%
特別会計	98億6670万円	▲2.5%
企業会計	2億8334万円	▲4.6%
総額	283億7903万円	0.9%

(注) 端数処理のため、合計額が一致しないことがあります



みんなが大野を好きになる
「未来へつなぐまちづくり」

新年度予算編成 に当たって

3月11日 第413回市議会定例会 代表質問に対する市長答弁の一部を要約

新年度の当初予算編成では、私がこれまで訴えてきました、「みんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくり」五つの方法を発現すべく予算案の編成に当たりました。

■チャンスを生かす
重点道の駅は、集客力のある魅力的な施設となるよう取り組みます。

地域経済の振興については、これまでの農工商連携によるブランド力向上などの取り組みに加え、新たな支援内容を追加した園芸作物の生産促進に取り組みます。また、大野市道の駅産直の会に対しては、農林産物の栽培技術向上や新たな土産品などの商品開発に対する支援を行います。

企業誘致に関しては、来年4月に予定する(仮称)大野市産業団地の一部分譲開始に向け、企業誘致活動に、より力を入れて取り組みます。

■イキイキと暮らす
子ども・子育てに関しては、障害児保育に係る経費の支援を拡充するなど、更にきめ細やかな保育の提供を進めます。

学校教育に関しては、ICT環境対応のため小学校に教育用タブレットを導入するほか、学校再編計画の見直しを行うため、タウンミーティングなどを開催しながら、より良い教育環境の構築について検討を進めていきます。

また、文化会館の整備に当たっては、市民向けワークショップを開催しながら、基本設計業務に取り組みます。

市民の皆さんの健康づくりを進めるため、幼児健診の充実などライフステージに応じた切れ目のない支援を行うとともに、市民の皆さんが自主的に

楽しみながら参加できる「健康づくりポイント事業」や「健康フェア」の開催に取り組みます。

さらに、スポーツを通じた健康の保持増進を図るため、「ラジオ体操会」や「体力測定会」の開催、エキサイト広場のトレーニング機器の更新を行うとともに、競技指導者のステップアップ講習会の開催や、トップアスリートなどによるスポーツ教室への開催支援についても取り組みます。

■底力をつける
大野市総合防災マップの見直しを行うほか、地域防災力の中核を担う消防団に関しては、消防団員の処遇改善を図ります。

■つながりを大切に
本市の水循環に関する研究成果の取りまとめに向けて大学などの共同研究を進めるとともに、フランスのヴォルヴィック市の中学生との文通による交流や、フランスのオレルアン市、ベナン共和国のパラク市との連携のもと、世界の水問題を楽しく学ぶことができるボードゲームの製作などに取り組みます。

■行財政改革
人口減少社会にあっても持続可能な地域を実現するため、簡素で効率的な行政運営を進めていきます。

第六次大野市総合計画の策定に向け、地区座談会を開催し、世界基準であるSDGsを物差しとして住民満足

度を測りながら、市民の皆さんの声をお聞きし、併せて、市民の意識調査も実施して作業を進めていきます。

また、市が交付する補助金、交付金や、公共施設の使用料などの見直しを行うほか、市税や上下水道料金などについて、来年4月からコンビニ収納を開始できるよう、システム導入を行います。

■まとめ
人口減少時代にあっても、誰もが本市でイキイキと暮らすことができ、自然豊かな環境を維持しながら、人と自然が共に生きていける持続可能な地域づくりを進め、市民の皆さんが大好きな大野を、もっとたくさんの人々に好きになってもらえるよう、各種施策に取り組んでいきます。

機構改革

4月から市役所の機構が一部変わりました。
重点道の駅のハード・ソフト両面にわたる整備促進のため、産経建設部に道の駅推進課を、文化的遺産の保存・活用を推進するため、教育委員会事務局に文化財課を設けました。

併せて、企画総務部政策局結の故郷創生室を企画総務部政策局総合政策課に変更しました。

総務課

☎ 64・4820

「未来へつなぐまちづくり」五つの方法

(1万円未満は切り捨て)

チャンスを生かす!

中部縦貫自動車道の延伸・開通などの絶好の機会を逃すことのないよう、地域経済の活性化を目指した準備を整えていきます。

中部縦貫道対策事業【継続】

2325万円

中部縦貫自動車道などの整備促進を図るための要望活動のほか、中部縦貫自動車道の沿線地区の道路改良や舗装工事などの費用。

「まるごと道の駅」拠点整備事業【継続】

9億3460万円

(平成30～32年度継続費：重点道の駅施設建築工事総額 21億7878万円)

重点道の駅「(仮称)結の故郷」整備にかかる費用。

道の駅産直の会支援事業【新規】

417万円

道の駅で農林産物や地場産物を安定して供給するため、農業者や事業者でつくる出荷団体「大野市道の駅産直の会」の研修会などに支援。

おもてなしセールス事業【拡充】

1245万円

観光客や観光消費額の増加を図るため、都市部の旅行会社に対する営業活動や旅行商品の開発などを実施。



工事が進む中部縦貫自動車道大野東IC

イキイキと暮らす!

子どもたちの教育環境をより充実することや、赤ちゃんからお年寄りまでが健康でイキイキと暮らすことができる取り組みを着実に進めていきます。

学校教育環境検討事業【新規】

123万円

小中学校再編計画の見直しのために、教育シンポジウムやタウンミーティング、アンケート調査を実施。

小学校教材備品整備経費【拡充】

1920万円

ICTの進展に対応するため、全小学校に1クラス分のタブレットを購入。

ふれあい保育事業・障害児保育事業【拡充】

2280万円

民間保育園や認定こども園に障害のある児童が入所した場合の、保育士の増員に必要な経費。

特定健診等推進事業【拡充】

3587万円

糖尿病性腎症等重症化予防に向けた取り組みを強化。

母子保健事業・育児等健康支援事業【拡充】

215万円

幼児健診における視能検査・虫歯予防の取り組みを強化。また育児相談でボランティア(健康サポーター)の活用を図る。

健康増進事業【拡充】

261万円

生活習慣病の予防対策。新たに健康づくりポイント事業や健康フェアを実施。

生涯スポーツ推進事業【拡充】

243万円

生涯スポーツを通じた健康の維持増進。新たにラジオ体操会や体力測定会を実施。

文化会館整備基本設計事業【新規】

7130万円

文化会館及び駅東公園を新たに整備するための基本設計の費用。



タブレット(イメージ)



地域健康づくり事業の運動講座

底力をつける!

変化の激しい社会にも対応できる、防災や産業、インフラ、伝統文化などの地域の底力を整えるため各種施策を進めていきます。

防災対策経費【拡充】

1613万円

防災対策にかかる経費。総合防災マップの更新などを行う。

和泉地区統合施設整備事業【新規】

2億677万円

(平成31~32年度継続費：総額 3億610万円)

和泉地区の公共施設再編(和泉支所と和泉公民館の統合)にかかる経費。



対策本部訓練の様子

つながりを大切にする!

市内だけでなく、市域を越えて全国へつながり、大野の魅力と誇りを形にする施策を進めていきます。

SDGsの取り組み【継続】

世界基準である「持続可能な開発目標」に関する理解や普及を促進。

全国的な表彰制度の活用【継続】

全国的な表彰制度を活用し、市民の功績をたたえる。

水への恩返し(CWP)事業【縮小】

842万円

これまでの東ティモールへの支援活動をはじめ、水に関する本市の取り組みを市内外に発信。

水関連都市交流事業【継続】

539万円

国際交流員(CIR)を配置し、海外都市との交流を促進。



市民がSDGsに触れる機会を創出

行財政改革

人口減少社会にあっても持続可能な地域を実現するため、簡素で効率的な行政運営を進めていきます。

第六次大野市総合計画策定事業【臨時】

478万円

平成33年度以降の本市のまちづくりの指針の策定に向け、アンケート調査や各地区での座談会を実施。

大野市総合計画審議会 公募委員を募集

大野市の将来像を描き、市政運営の指針となる「第六次大野市総合計画」の策定に当たり、市民の意見を反映するため、委員を公募します。

委員の区分(募集人数と応募条件)

- 一般公募委員1人(18歳以上の市民)
 - 女性公募委員1人(18歳以上の市民)
 - 若者公募委員2人(18歳以上39歳以下の市民、性別不問)
- ※重複申込み不可。応募多数の場合、書類選考の上決定

委嘱期間 平成31年度~32年度

※総合計画の策定に係る各種会議に参画

応募方法

住所・氏名・年齢・職業・電話番号・委員の区分を明記の上、「大野市の活性化のために自分自身で取り組みたいこと」を400字程度にまとめて提出(書式は自由)

締切 4月23日(必着)

☎ 総合政策課(☎64・4824)



大野市総合計画はこちらから

使用料などの見直し【臨時】

10月の消費税率の引き上げの機会を捉え、公共施設使用料や手数料などの見直しを行う。

市が交付する補助金、交付金の見直し【継続】

市が交付する補助金、交付金を継続して見直す。

コンビニ収納の導入【新規】

平成32年度から市税、上下水道使用料、介護保険料、後期高齢者医療保険料のコンビニ収納を開始。

平成31年度予算案として3月市議会定例会に提出した内容です

重点道の駅の完成イメージ図が できました

問 道の駅推進課(☎64・4828)

平成33年度早期に開駅予定の重点道の駅「(仮称)結の故郷」の施設整備計画がまとまりましたので、お知らせします。
 県の東の玄関口として市内観光を促進するための「観光回遊促進機能」や大規模災害に対応するための「防災機能」を併せ持つ道の駅を目指します。

■重点道の駅の中心的機能

- 1 越前おおのが育んだ食の市場
- 2 モンベルとひらくアウトドアの拠点
- 3 名水と城下町をはじめとする観光案内所
- 4 大規模災害に備える広域防災拠点

■施設を充実させるための五つの方針

方針1 「越前おおのが」の食文化を満喫できる道の駅

・ たくさんのおいしい食文化を満喫できる道の駅
 ・ たくさんの食が味わえるよう、飲食コーナーには多彩な飲食店を揃える

・ 楽しくゆったりと買い物ができるよう天井を高くして光を取り入れ、多様な販売レイアウトが可能な大空間とする

方針2 豊かな自然が体感できる道の駅

・ モンベル店舗は、山小屋風の建物外観にする

・ 火のぬくもりを感じるこがで薪ストーブを設置する
 ・ 屋外には、クライミングが体験できるクライミングピナクル※を設置する

方針3 来館者を優しく案内する道の駅

・ 市内の観光スポットへ誘導する観光案内所を設置する
 ・ 豊かな水環境をPRするため、川魚が泳ぐ水槽を設置する
 ・ 四季折々の観光情報を提供するため、販売コーナーにデジタルサイネージを、道路情報コーナーにはモニターを設置する

方針4 大規模災害に備える道の駅

・ 大規模災害を想定し、自家発電設備や防災倉庫を設置する

方針5 すべての人が使いやすい道の駅

・ ユニバーサルデザインを取り入れ、駐車場や通路、トイレなどは、高齢者や障害のある人など、全ての人が使いやすい施設とする



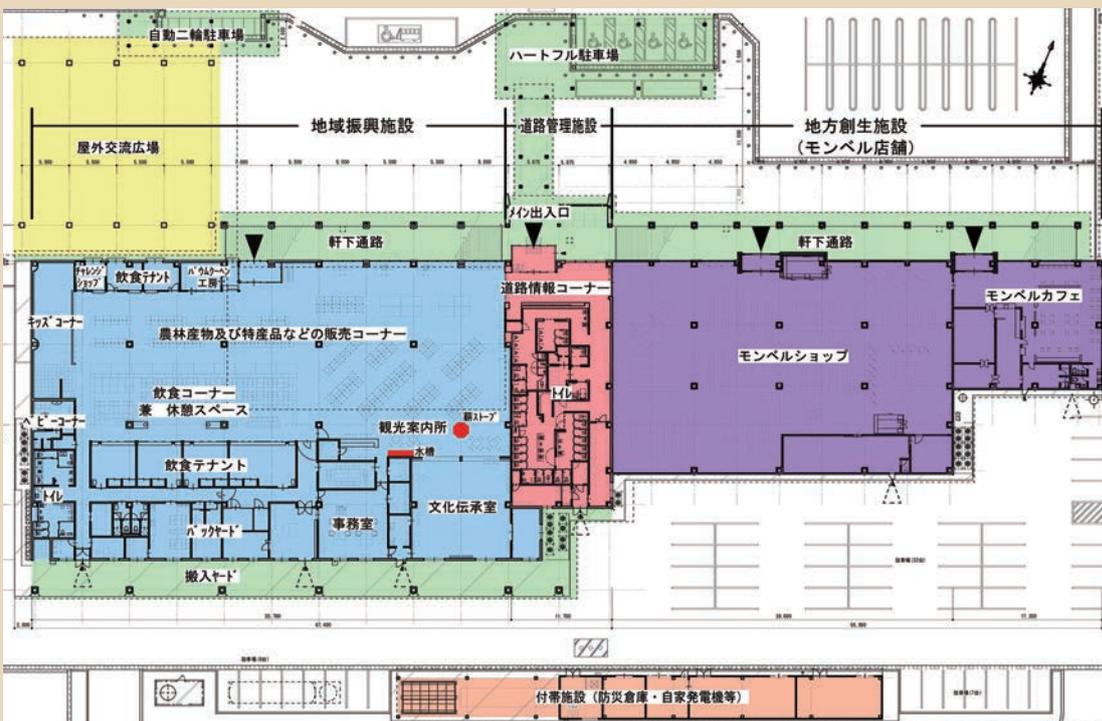
※クライミングピナクルとはクライミングが体験できるよう人工的に造られた岩の塔

■建築概要

主要用途	商業施設、公衆用トイレ
階数	1階
構造	鉄骨造
建築面積	5526平方メートル
延床面積	5082平方メートル
建築費	21億3500万円
駐車台数	小型車 169台
	大型車 33台
	ハートフル4台
	自動二輪10台

<延床面積内訳>

道の駅	道路管理施設	297平方メートル
道の駅	地域振興施設	1965平方メートル
	地方創生施設(モンベル店舗)	1258平方メートル
	屋外交流広場	418平方メートル
	その他、付帯施設(防災倉庫など)	1144平方メートル
小計		4785平方メートル





店舗イメージ

重点道の駅の指定管理予定者である中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社と調整を進めてきた結果、重点道の駅に県内初となるモンベルの出店が決定しました。

モンベルは登山愛好家などから絶大な支持を受ける大手アウトドア総合ブランドであり、高い集客効果が得られることが期待できます。また、これまでの幅広い活動実績により本市の豊かな自然環境を生かした多様な事業展開も期待できます。

モンベルとの連携を強化することにより、重点道の駅を本市の「稼ぐ力」の起爆剤として生かしていきます。

県内で初めて モンベルが出店します

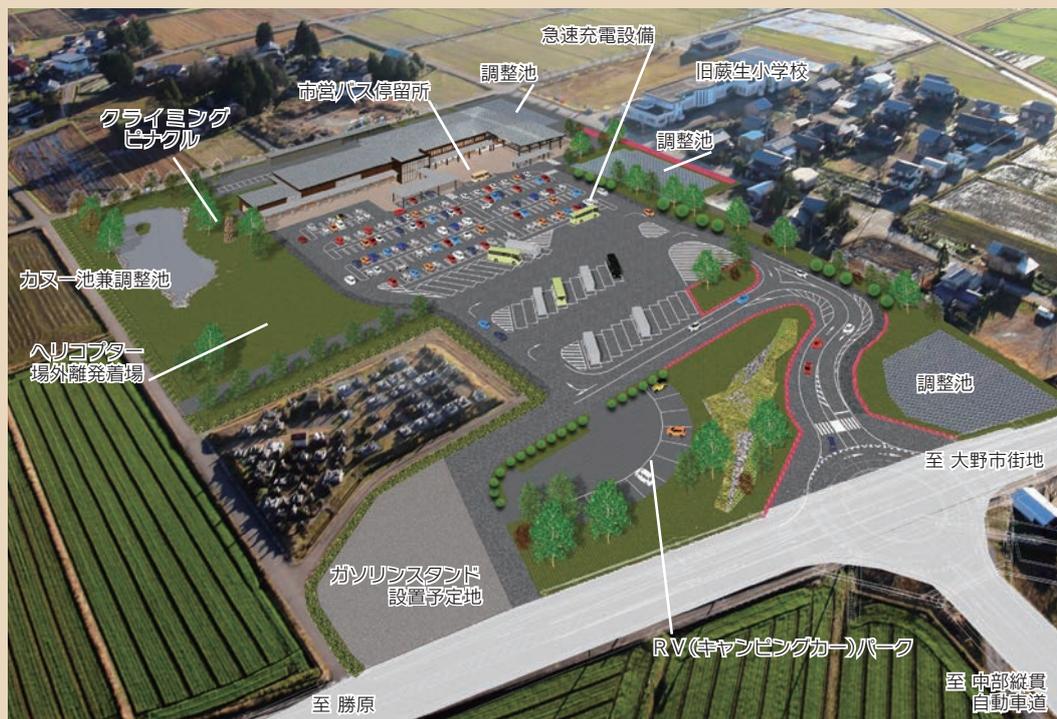


本市とモンベルは、平成28年10月に「モンベルフレンドタウン パートナースhip」し、平成29年2月には「地方創生に向けた相互連携・協力に関する協定」を締結しました。

相互の協力により、本市のブランド発信、エコ・グリーンツーリズムの推進のほか、本市の自然を生かしたアウトドアスポーツの振興、市の交流人口の拡大および地域経済の活性化、自然環境の保全などに取り組んでいます。

モンベルとは

- モンベルグループは、アウトドア用品の企画・製造から卸売・販売、イベント運営企画、保険業などを手掛ける総合グループ
- モンベルストアは全国で124店舗(平成31年2月末現在)
- モンベルクラブ会員数は、約90万人(平成31年2月末現在)
- 阪神淡路大震災を契機に発足したボランティア集団「アウトドア義援隊」による災害支援などの社会活動も展開



道の駅 産直の会 が設立されました

2月22日、結とびあで大野市重点道の駅「(仮称)結の故郷」の指定管理予定者である中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社と、道の駅九頭竜の指定管理者である福井和泉リゾート株式会社が、両道の駅への共同出荷組織である「大野市道の駅産直の会」の設立総会を開催しました。
平成33年度早期の重点道の駅開駅に先駆け、産直の会会員は4月から道の駅九頭竜(朝日)に「越前おおの」の魅力ある農林産物や地場産品などを出荷できるようになります。



インタビュー

道の駅産直の会 会員からの期待の声



嶋 光義さん
(山下)

魅力ある商品の提供を

私はキク、穴馬スイートコーン、穴馬かぶらを中心に栽培しています。道の駅の直売所を魅力的なものにするには、少量でも品種を多く出していく必要があり、野菜だけでなく、山菜などの加工品にも取り組むことで、豊富な商品を長い期間出荷できると考えています。

和泉地区の中では、作付計画の段階から、みんなで協力して、多くの売れる品物を出していきたいという前向きな意見が出ており、産直の会には、売れる商品や多くの品種作付、他の直売所の事例など、情報提供やアドバイスを期待しています。

集客力が望める重点道の駅に、いかにして和泉地区の魅力ある商品を提供できるか、大野油坂道路の開通を見据え、生産者として真剣に考えています。

マッチングで新商品が

加工品販売を始めたとき、お客さんが商品を通じて農産物に興味を持たれ、その結果、農作物の顧客拡大につながった経験があります。道の駅はインターネットショップのような役割もあると思います。

産直の会発足をきっかけに農業が活気つくことを期待しています。事業者などさまざまな人が会に関わっているので、マッチングで新しい商品ができるかもしれない。産直の会として随時研修会や会議を開催し、互いに学び合いながら会全体で意思統一を図り、その中で、それぞれの独自色を出していくことが重要だと考えます。道の駅が農業の好きな若者や女性の活躍の場として、楽しみながら生業につながるとういことです。



さちこ
婦山 幸子さん
(下唯野)

平成31年度の市の支援内容



産直の会会員が魅力的で充実した商品づくりが行えるよう、市と関係機関が連携して産直の会を支援していきます。

会員を募集します

産直の会に加入することで、野菜の栽培技術の向上を目指した講座や、新たな商品開発、効果的な売り方などを学ぶレベルアップ講座に参加できますので、早めの入会をお勧めします。入会を希望する人は、電話などで連絡してください。

【道の駅産直の会事務局】

福井和泉リゾート(株) ☎78・2300

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名

古屋(株) ☎66・1722

会員のレベルアップ講座の開催

全国の直売所の事例の紹介や売れる商品の見せ方、6次産業化への取り組みなどを学べる講座を開催し、農林産物の充実や魅力度の向上につなげていきます。また、先進的な直売所への視察研修を実施します。

商品開発に向けて専門家チームによる支援

産直の会会員に対して、中小企業診断士協会や市などで構成する専門家チームがサポートを行います。全体的なレクチャーや分野別の検討を通じて、新たな商品開発につなげていきます。

説明会を随時開催します

集落や団体向けに、重点道の駅や産直の会に関する説明会を随時開催しますので、希望する人は問い合わせください。

☎ 道の駅推進課 ☎64・48288

あなたの集落にも出張します！

“大野の食”の魅力をアピール

市内外に

道の駅開駅を見据え、市と観光協会は、“大野の食”の魅力を市内外にアピールするため、大野ならではの食材を使った新メニューの開発をスタートしました。



はまなみそを使ったエビチリ



はまなみそを使ったビンパン



3月13日には大野の冬ならではの食材「はまなみそ」を使った新メニューを発表。飲食店や旅館などの観光関係者を交えて料理講習会を開催し、“大野の食”の持つ可能性を自分の腕と舌で確認しました。

素材を生かしてアレンジ いろいろ

ご飯の友としてなじみ深い「はまなみそ」は小さい頃、祖父が手作りしてくれた思い出があります。夏から仕込みを始め、冬にやっと食することができる貴重な食材。その魅力は独特の香りとナスの菌ごたえですね。はまなみそは見た目が地味なので、今回のアレンジ料理では、海老やパプリカ、ニンジンなどを使って彩りよくしました。

道の駅でお客さんが「はまなみそ」を手に取り、アレンジした料理でそのおいしさを知ってもらえるといいですね。次は「けんから」を使った新メニューなんていうのもおもしろいかも。



ニシヨク
新メニューを開発したnishokuの
三嶋香代子さん(左)と村上洋子さん(右)

伝統の継承 次代への文化の創造 に向けて

——大野市文化会館整備基本計画がまとまりました——

問 教育総務課 (☎64・4827)



教育委員会では、大野市文化会館整備基本計画を策定しました。

この計画は、学識経験者や市内関係団体、文化会館利用団体などの委員で構成する

「大野市文化会館整備基本計画策定委員会」で協議し取りまとめたものです。

文化会館と駅東公園の整備方針や今後の予定などの概要をお知らせします。

なお、基本計画の全文は、市ホームページに掲載しています。



■計画目的

平成29年2月に策定した「大野市文化会館整備基本構想」の実現に向け、地域に根差した個性豊かな文化の創造・振興の拠点となる施設の整備コンセプトや構成などの大枠、管理運営の方向性などを取りまとめ、新たな文化会館が目指す姿を示します。

■整備コンセプト

- ①常に市民が集い、市民が主役となるステージ
- ②多目的に使える機能性を重視した質の高いホール
- ③シンプルに美しく、市民の手で長く愛され続ける施設

■目指す姿

優れた文化芸術の公演の舞台となる、質の高い施設づくり

・質の高い音響設備や舞台機構などを備え、快適な観賞空間を確保し、優れた文化芸術の公演に触れることができます

市民が創作活動に取り組みやすい、使い勝手のよい施設づくり

・防音機能がある練習専用の部屋や、楽器演奏やダンスの練習など多目的な利用に対応した機能を備えることで、市民が創作活動に取り組みやすくなります

文化芸術以外の目的にも使える、多目的な施設づくり

・喫茶コーナーなどを設けるとともに、ホワイエとエントランスホールを活動や交流スペースとすることで、多くの市民が気軽に集い日常的に利用できます

・文化会館と駅東公園を一体的に整備することで、公園を利用する人が気軽に文化会館に立ち寄ることができ、公園を活用した屋外イベントなどにも利用できるようになります

文化芸術に係る情報提供・発信拠点となる施設づくり

・情報・展示コーナーを設け、文化芸術に係る情報提供や発信の拠点となります

「結の故郷越前おおの」の魅力を伝え、魅せる施設づくり

・文化芸術活動や練習風景を見せる工夫をします

・市県産材を活用し、大野の自然を感じられる施設とします

人に優しい施設づくり

・バリアフリー化した館内に必要なトイレ数の確保や新たな多目的トイレを設置することで、すべての人が快適に利用できます

災害に強い施設づくり

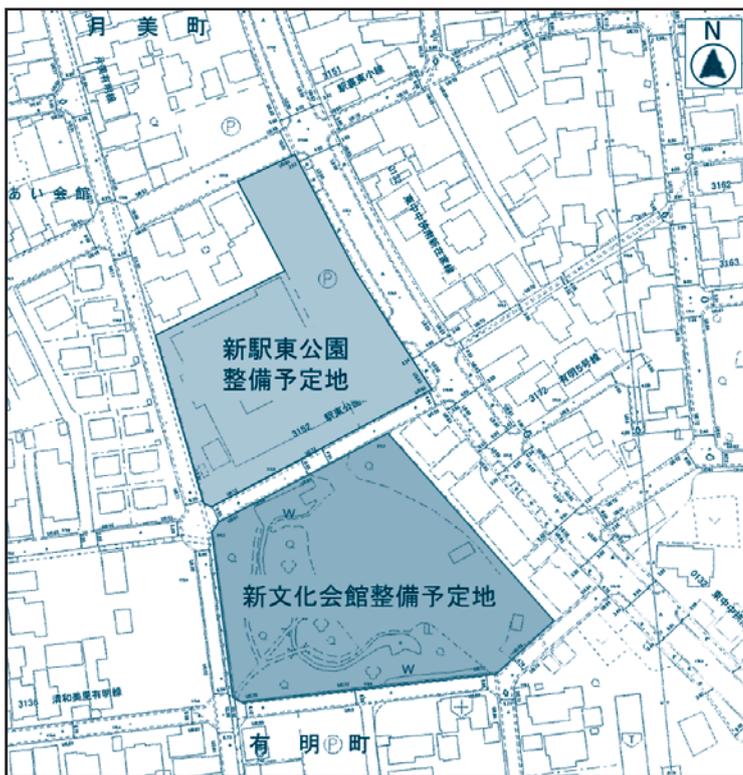
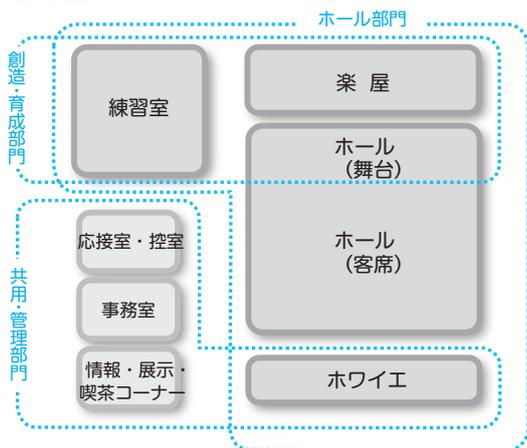
・災害に強い施設づくりを行い、避難所としての機能を備えます

ライフサイクルコストに配慮した施設づくり

・機能的でコンパクトな施設とし、省エネルギーに配慮します

※ライフサイクルコストとは建物の生涯（企画から解体処分まで）に要する費用

大野市文化会館整備基本計画



■主な諸室

【ホール部門】

舞台、客席(座席数:現状程度)、ホワイエ、楽屋(3室)、技術諸室、倉庫・備品庫など

【創造・育成部門】

練習室(大1室、小1室)

【共用・管理部門】

情報・展示コーナー、喫茶コーナー、応接室・控室、管理事務室など

■延床面積

現文化会館で利用者に不便であった舞台、トイレ、エントランスホールやホワイエなどの機能を改善し、広く使い勝手のよい施設を目指すこととし、延床面積は約4000平方メートルと想定します。

■新駅東公園の整備方針

「新文化会館と一体的に利用できる公園」の実現を目指した整備を行います。

公園、広場として利用するだけでなく、屋外イベントや新文化会館での催しの際の臨時駐車場(約120台)としての利用も想定します。

■運営の方向性

指定管理者制度による運営を行うことを基本とし、運営組織構築の検討を進めます。また、市民が管理運営に参加する場や機会をつくり、将来的な運営の担い手の育成にも取り組みます。

■概算事業費

建設費を約21億円(新文化会館本体の建設工事費および舞台設備費のみ)と想定します。

■今後の予定

基本設計業務に取り組み、市民向けワークショップを開催するなど、市民の皆さんの意見を聞きながら進めていきます。

同時に、新文化会館の管理運営に関する検討も進めていきます。新文化会館は、平成34年度中の完成を目指し、その後、新駅東公園を整備する予定です。

■整備スケジュール

年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
設計	[進捗バー]				
新文化会館建設			[進捗バー]		
新文化会館供用準備				[進捗バー]	
新文化会館供用開始				[開始点]	[進捗バー]
現文化会館解体				[進捗バー]	
新駅東公園整備					[進捗バー]
新駅東公園供用開始					[開始点]

地域で暮らし続けることができるまちに

大野市地域公共交通網形成計画が まとまりました

図 建築宮繕課 ☎64・48115

地域公共交通網形成計画とは

「大野市地域公共交通網形成計画」は、本市の地域公共交通の現状や課題を踏まえ、さまざまなまちづくり分野と連携した地域公共交通の基本方針や目標、実現するための施策を示したものです。

計画策定の背景

地域公共交通は、モータリゼーションの進展などに伴い、利用者が減少傾向にあり、路線の維持が困難になってしまっています。一方、自家用車を持たない、または利用することができない人にとって、地域公共交通は必要不可欠な移動手段であり、その確保・維持が求められています。

また、さらなる高齢化への対応や高齢者の外出支援を通じた健康寿命の延伸、交通事故の防止、環境負荷の軽減など、まちづくりとの連携およびコンパクトなまちの形成などの観点からも、重要な役割を担うことが期待されています。

こうした背景から、公共交通ネットワーク全体を一体的に形づくり、持続させることを目的に、地域全体の公共交通のあり方、住民・交通事業者・行政の役割などを定める本計画を策定しました。

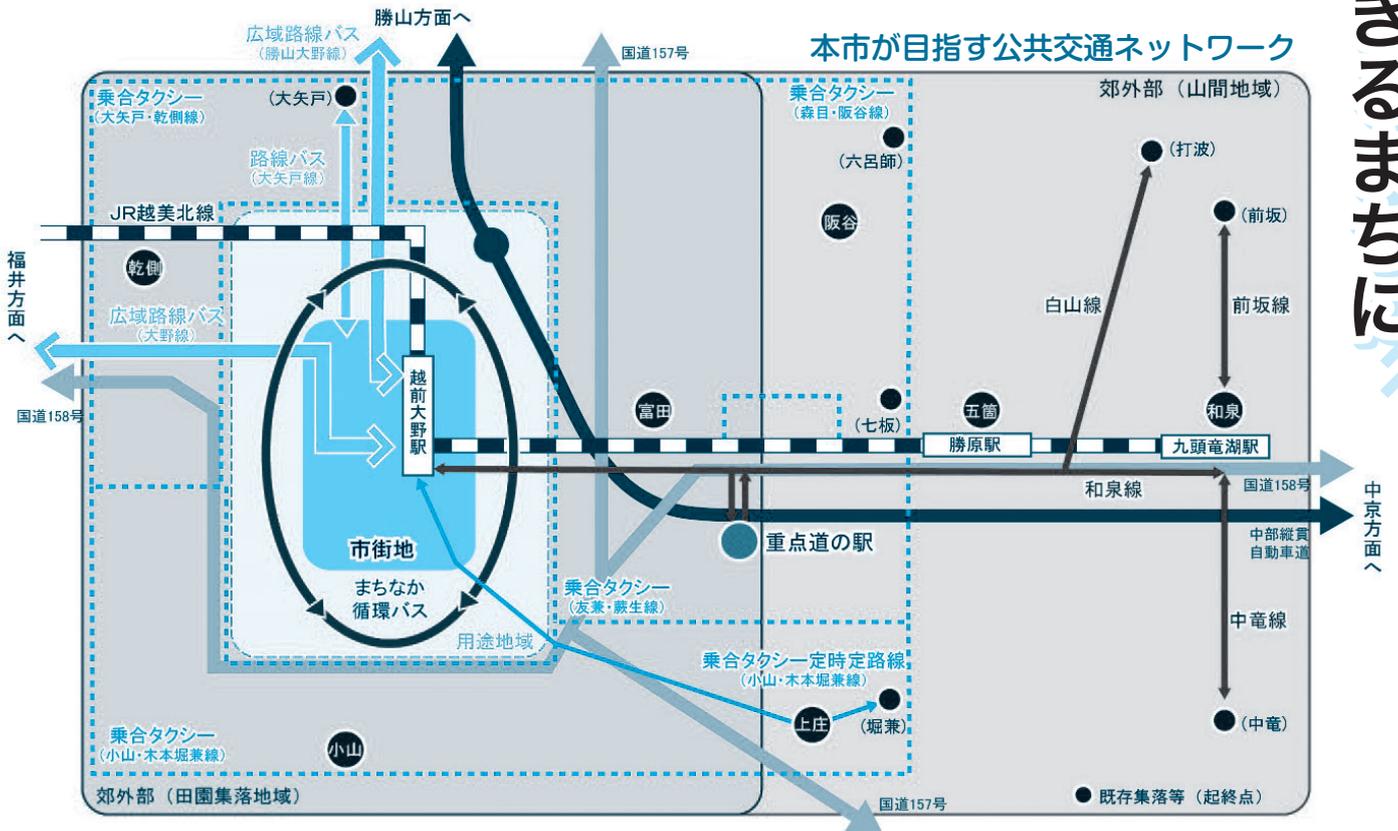
計画の方針

地域で暮らし続けることができるまちづくりと連携した持続可能な公共交通

計画区域 大野市全域

計画の期間 平成31年度から35年度

本市が目指す公共交通ネットワーク



広域連携軸	地域内連携軸	地域間連携軸
JR越美北線 広域路線バス (大野線、勝山大野線)	まちなか循環バス 市営バス (前坂線、中電線)	路線バス (大矢戸線) 乗合タクシー (定時定路線) 市営バス (和泉線、白山線) 乗合タクシー (区域運行)

計画の目標

目標1 交通機関の役割と特性を生かし、住み慣れた地域で住み続けられる公共交通の実現

指 標		現況値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
①	J R越美北線の乗車人員数(全駅)	33万9640人 (930人/日)	34万5000人 (946人/日)
	J R越美北線の乗車人員数(大野市内の駅)	10万999人 (276人/日)	10万2000人 (279人/日)
②	広域路線バスの年間利用者数	26万2621人	22万5000人 ^{※1}
③	市内公共交通 ^{※2} の年間利用者数 (市民1人あたりの利用回数)	2万9479人 (0.78回)	3万人 (0.85回)
	(内訳) まちなか循環バス	1万8225人	1万9200人
	乗合タクシー	6089人	6700人
	市営バス	3318人	2700人
	京福バス大矢戸線	1847人	1400人
④	公共交通利用者の満足度 (市民アンケート調査の総合評価に関する「満足」「やや満足」の合計)	23 [㊦] (平成30年度)	30 [㊦]

※1 平成30年10月から京福バス大野線が17便から11便に減便したため、目標数値は減便の影響を考慮して設定

※2 まちなか循環バス(2路線)、乗合タクシー(区域運行4路線、定時定路線1路線)、市営バス(4路線)、京福バス大矢戸線

目標2 市民の積極的な利用による、将来にわたって持続可能な公共交通の実現

指 標		現況値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
⑤	市内コミュニティバス ^{※3} の便利用者数 (便利用者数=利用者数/便数)	2.5人/便	2.6人/便
	(内訳) まちなか循環バス	5.8人/便	6.1人/便
	乗合タクシー	2.0人/便	2.2人/便
	市営バス	0.6人/便	0.5人/便
⑥	市内コミュニティバス ^{※3} の収支率 (収支率=運賃収入/運行経費)	5.6 [㊦]	5.8 [㊦]
	(内訳) まちなか循環バス	7.8 [㊦]	8.2 [㊦]
	乗合タクシー	5.3 [㊦]	6.2 [㊦]
	市営バス	2.6 [㊦]	2.1 [㊦]
⑦	公共交通の利用意識 (市民アンケート調査の「現在利用しており、今後も利用しようと思う」「現在利用していないが今後は利用しようと思う」の合計)	41 [㊦] (平成30年度)	50 [㊦]

※3 まちなか循環バス(2路線)、乗合タクシー(区域運行4路線、定時定路線1路線)、市営バス(4路線)

目標3 様々なまちづくり分野と連携し、外出機会及び波及効果を創出する公共交通の実現

指 標		現況値(平成29年度)	目標値(平成35年度)
⑧	運転免許自主返納支援事業の利用件数(認定者数)	2918件 (296人)	5100件 (512人)
⑨	まちなか循環バス増便日の年間利用者数	339人	500人
⑩	「文化施設・まちなか循環バス利用パスポート」でのバス利用者数	529人	900人
⑪	公共交通の必要性 (市民アンケート調査の自分もしくは将来や家族などのために「必要」とする割合の合計)	81 [㊦] (平成30年度)	90 [㊦]

基本計画の全文は、市ホームページに掲載しています



固定資産税・都市計画税の納付をお願いします

税務課 (☎66・1111内線1305~1308)

期別	納期限
第1期	5月7日(火)
第2期	7月31日(火)
第3期	12月25日(火)
第4期	平成32年3月2日(火)

4月初旬に納税通知書を発送します

市では、平成31年度固定資産税・都市計画税の納税通知書を、4月10日ごろまでに順次発送します。納期限内の納付をお願いします。納税通知書が届かないときは、問い合わせください。

建物を取り壊したときは届け出を

納税通知書に添付されている課税明細書に、昨年までに取り壊した家屋が含まれていませんか。

固定資産税は、毎年1月1日を賦課期日としているため、課税の対象から除外するためには、取り壊した年の年末までに

届け出て、市に確認を受ける必要があります。課税明細書に壊した家屋が含まれていないか確認してください。

Q&A 固定資産税・都市計画税の

Q 平成27年に新築した住宅の固定資産税が高くなっただけ?

A 住宅を新築した場合、一定の要件を満たせば、課税された年度から3年度分(3階建て以上の中高層耐火住宅などは5年度分)の税額が軽減されます。平成27年中に新築された住宅にかかる固定資産税は、平成30年度で軽減期間が終了するため、平成31年度から本来の税額に戻るようになります。

Q 住宅を取り壊したら固定資産税が高くなった?

A 住宅の敷地は、税額が軽減されます。住宅を取り壊した場合、軽減されなくなり、本来の税額に戻ります。昨年に比べて税額が高くなったのは、取り壊した住宅分の税額の減少より、住宅の敷地となっていた土地に対する軽減がなくなったことによる税額の増加の方が大きくなったためです。

Q 今年2月に所有者を変更したのに、納税通知書が送られてきた?

A 固定資産税は、その年の1月1日現在の所有者に対して課税されます。今年になって(1月2日以降に)土地や家屋を売却し、所有者を変更しても、平成31年度分が全額掛かります。今年に入ってから家屋を取り壊した場合も家屋の平成31年度分が全額掛かります。

市税の納付は、便利な口座振替を

申し込みは、口座のある金融機関の窓口でできます。また、税務課でも金融機関キャッシュカードで口座振替の申し込みができる「ペイジー」口座振替受付サービスを行っていますので、ぜひ利用してください。

申込日の翌月末に納期を迎えるものから、口座振替を開始します。

金融機関
 福井銀行、北陸銀行、
 福邦銀行、越前信用金庫、
 J A テラル越前、
 北陸労働金庫、
 ゆづちよ銀行

※ J A テラル越前は「ペイジー」口座振替受付サービスを利用できませんので、金融機関の窓口で申し込みをお願いします。

固定資産税 土地家屋価格縦覧帳簿の縦覧と課税台帳などの閲覧

縦覧期間：4月1日(月)～5月7日(火)

閲覧は開庁時間帯であればいつでもできます

種別	資格	持ち物	手数料	場所
縦覧帳簿の縦覧	固定資産の所有者・納税義務者・管理者	本人であることを確認できるもの(免許証や保険証など)	無料(コピー不可)	税務課(本庁舎1階5番窓口)
	委任状による代理人	代理人の場合は、委任状と代理人自身の免許証や保険証など		
課税台帳の閲覧	固定資産の所有者・納税義務者・管理者	本人であることを確認できるもの(免許証や保険証など)	無料(コピーは1枚もしくは1件300円)	
	委任状による代理人	代理人の場合は、委任状と代理人自身の免許証や保険証など		
	固定資産の関係者(借地人・借家人)	借地人・借家人は賃貸借契約書など		
路線価台帳の閲覧	規定なし	特になし	無料(コピー不可)	

縦覧制度 納税義務者が自分と他人の土地・家屋の評価額を比較し、固定資産評価額が適正であるかどうかを自ら確認・判断できる制度です。

閲覧制度 固定資産税の家賃や地代への転嫁が考えられることから、借地人や借家人に課税資料を開示し、賃借料の不当な引き上げを抑止することを目的としています。

市議会臨時会



松田 元栄 副議長



梅林 厚子 議長

各常任委員会、議会運営委員会などの構成は、議会日より3月臨時会を見てください。

議長に梅林氏、副議長に松田氏
2月26日に第412回臨時会が開かれ、正副議長選挙の結果、第45代議長に梅林厚子氏、第55代副議長に松田元栄氏が選出されました。各委員会委員の選任なども行われました。
梅林氏は3期目で、総務文教常任委員長や民生環境常任委員長などを歴任しています。
松田氏も3期目で、総務文教常任委員長や産経建設常任委員長などを歴任しています。

第55回 越前大野名水マラソン

参加申込締切 インターネット4月15日(月)
窓口4月10日(木)

5月26日(日)午前9時 市役所前スタート

参加を希望する人は、大会専用サイトから申し込むか、平日の午前8時30分～午後5時15分に学びの里「めいりん」、エキサイト広場に来てください。

市内の小中学生には、学校を通じて専用の申込用紙を配布します

大会専用サイト
<http://runnet.jp>



☎ 越前大野名水マラソン大会事務局
(スポーツ振興室内 ☎65・5592
FAX66・6308)
〒912-0044 大野市桜塚町601エキサイト広場

種目	部門	スタート時刻
2 ^キ 〇	小学1年親子、2年親子	午前9時30分、25分
	小学3・4年男子*、3・4年女子*	午前10時25分、30分
	小学5・6年男子、5・6年女子	午前10時05分、20分
3 ^キ 〇	中学男子、一般男子(高校生含む*)	午前9時50分
	中学女子、一般女子(高校生含む*)	午前9時55分
5 ^キ 〇	一般男子39歳以下、40歳以上 一般女子39歳以下*、40歳以上*	午前9時40分
10 ^キ 〇	一般男子39歳以下、40歳代、50歳代、60歳以上 一般女子39歳以下*、40歳以上*	午前9時15分
ハーフ	一般男子39歳以下、40歳代、50歳代、60歳以上 一般女子39歳以下、40歳以上	午前9時

※ 今大会から追加

参加料 一般2500円、高校生1500円、小中学生800円、親子2000円

ランナーに優しいコース設定

市街地から田園地帯へ抜ける高低差約50%の緩やかなコース。地元区民の手で育てられた花がコース沿線を彩ります。ハーフ折り返し地点までに、給水所やスポンジ(冷却)ポイントを6カ所設置し、万が一に備え、救護スタッフもコース各所に待機しています。

関門閉鎖時刻は、午前11時45分

ゴール手前2^キ地点に制限時間の関門を設置します。5^キの部、10^キの部、ハーフの部に出場するランナーで関門閉鎖時刻に関門を通過できなかったランナーは、その時点で競技を中断し係員の指示に従ってください。ゴールできなかったランナーの記録・計測は行いません。



休日急患診療
(☎ 65・8999)

【診療科目】
小児科 (日・祝日のみ) 内科・外科
【診療時間】
土曜日 後1～9 (6・13・20・27日)
日・祝日 前9～後9 (7・14・21・28・29・30日)



金	土
5 清明	6 心のごはんの時間 後2～2:25 図書館 心のおやつ時間 後2:30～2:55 図書館 あそぼう百人一首 後3～4 図書館
12	13 心のごはんの時間 後2～2:25 図書館 心のおやつ時間 後2:30～2:55 図書館
19 食育の日	20 穀雨 郵政記念日 心のごはんの時間 後2～2:25 図書館 自然あそび 後2:30～3:30 図書館
26	27 心のごはんの時間 後2～2:25 図書館 心のおやつ時間 後2:30～2:55 図書館 おはなし会 後3～3:30 図書館
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今月の納税</p> <p>固定資産税 第1期</p> <p>◆納期限 5月7日(火)</p> <p>★納税は、便利な口座振替をご利用ください</p> </div>	

施設名	休館日
学びの里「めいりん」	なし
公民館	29・30日
図書館	1・8・15・21・22・29日
本願清水イトヨの里	1・8・15・22日
歴史博物館・民俗資料館	なし
和泉郷土資料館・笛資料館	1・8・15・22日
越前大野城	なし
武家屋敷旧内山家	
武家屋敷旧田村家	1・8・15・22日
文化会館	
COCONOアートプレイス	1・8・15・22日
B&G海洋センター	1・8・15・22・29日
エキサイト広場	3・10・17・24日
あつ宝んど	9日
うらら館	1・8・15・22日
平成の湯	2・9・16・23日
結とびあ	なし



※ 4月29日月昭和の日には
みんなで国旗を掲げましょう

【その他】

相談名	開催日	時間	会場・問い合わせ先
年金相談 要予約	25日	前10～後3:30	大野商工会議所 ☎0776・23・4518 (福井年金事務所)
結婚相談・女性悩みごと相談 (レディース・トラブル・バスター)	3・10・17・24日	3日 後6～8 ほか 後1:30～3:30	結とびあ ☎64・5142 (福祉こども課)
臨床心理士による教育相談 要予約	4・11・18・25日	後1～5	青少年教育センター ☎66・6650 (青少年教育センター)
心配ごと相談	11・25日	前9～正午	結とびあ ☎65・8773 (社会福祉協議会)

【中小企業相談】 (商工業に関する相談)

経営(商業) 要申込	8日	後1～4	大野商工会議所 ☎66・1230
労働 要申込	10日	後1～4	
金融(日本政策金融公庫・中小企業事業) 要申込	12日	後1～3	
法律 要申込	18日	後1～4	
税務 要申込	22日	後1～4	
司法書士相談	17日	後1～4	
夜間相談	4・18日	後5～8	
和泉地区相談会	—	前10～後3	(会場)和泉ふれあい会館

日	月	火	水	木
	1 市民生活課窓口業務延長 ～後8 元気づくり体操クラブ 後1～2:30 保健センター(結とびあ内)	2 健康プラスデー 前9～後6 保健センター(結とびあ内)	3	4 市民生活課窓口業務延長 ～後8 元気づくり体操クラブ 後1～2:30 保健センター(結とびあ内)
7 世界保健デー 心のおやつ時間 前10:30～11 図書館	8 花まつり 市民生活課窓口業務延長 ～後8 元気づくり体操クラブ 後1～2:30 保健センター(結とびあ内) ●消防総合訓練	9 ストレス相談(要予約) 後2～4 結とびあ 1 歳半児健康診査 後1～1:30 保健センター(結とびあ内) 住民票などのコンビニ交付停止 前6:30～後11	10 3 歳児健康診査 後1～1:30 保健センター(結とびあ内)	11 メートル法公布記念日 市民生活課窓口業務延長 ～後8 元気づくり体操クラブ 後1～2:30 保健センター(結とびあ内)
14 心のおやつ時間 前10:30～11 図書館	15 青少年育成の日 市民生活課窓口業務延長 ～後8 元気づくり体操クラブ 後1～2:30 保健センター(結とびあ内)	16 介護予防自主講座うららで やるまい会(要予約) 前9:30～11:30 保健センター(結とびあ内)	17	18 発明の日 市民生活課窓口業務延長 ～後8 健康Happyタイム 前10～11 保健センター(結とびあ内)
21 家庭の日	22 市民生活課窓口業務延長 ～後8	23 絵本の部屋 前10～正午 図書館	24	25 市民生活課窓口業務延長 ～後8
28 心のおやつ時間 前10:30～11 図書館 普通救命講習会(要予約) 前9～正午 消防署 ●ごみの第4日曜日受け入れ	29 昭和の日 ●ごみの祝日受け入れ	30 国民の休日 ●ごみの休日受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 未成年者飲酒防止強調月間 ■ みどりの月間(15日～5月14日) ■ 科学技術習慣(16日～22日) ■ こどもの読書週間(23日～5月12日) <p>●印の行事は別の紙面で詳しく記載しています。</p>	

各種相談日

【保健関係】

相談名	開催日	時間	会場・問い合わせ先
育児相談会	3・17日	前10～11	保健センター(結とびあ内) ☎65・7333 (保健センター)
育児不安解消サポート事業(おひさま広場) 要予約	—	前10～11:30	子育て支援センター(結とびあ内) ☎66・2076 (奥越健康福祉センター)
心の健康相談 要申込	3・17日	後2～3	奥越健康福祉センター ☎66・2076
エイズ相談検査、B型・C型肝炎相談検査	2・16日	前9～11	
女性相談	1・4・11・15・18・25日	前9～後5	結とびあ
補聴器相談	15日	前10～正午	結とびあ ☎64・5142 (福祉こども課)
ピアサロン いちご会(え)	3・10・17・24日	後1:30～3:30	結とびあ ☎69・1600 (障害者相談支援センター)

【法律関係】

人権相談・行政相談	4・18日	後1:30～3:30	結とびあ	☎64・4820 (総務課)
無料登記相談	10日	後1:30～4	結とびあ	
法律相談 要申込	11・25日	後1～4	結とびあ	☎65・8773 (社会福祉協議会)